

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成16年度～平成20年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	嶺北仁淀 （れいほくによど） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署
完了後経過年数	5年	管理主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、高知県北部に位置する嶺北仁淀森林計画区の国有林26,633haを対象としている。</p> <p>本計画区は、西は吉野川の源流部、東は南小川上流部の徳島県境までの高知県北部に位置し、区域面積190,947haで森林はその86%の164,188haとなっている。年平均気温は12.4℃、平均年間降水量が3,704mmと林木の生育に適した気候下にあることから、スギを中心とした植林が行われており、人工林率は69%となっている。</p> <p>国有林野は、吉野川の源流部、瀬戸川、汗見川、南小川等の上流部、仁淀川の支流に広く分布している。人工林率は59%で、ヒノキが61%を占めている。人工林の齢級配置は、7～12齢級の森林が74%を占めており、これらの高齢級化しつつある人工林について適切な施業を引き続き実施することが必要である。天然林は、筒上山、瓶ヶ森、白髪山、寒風山等周辺にまとまって分布している。これらの天然林は地域を代表する多種多様な林相からなり、自然美の景観としても優れているものも多く、国定公園、保護林、レクリエーションの森等に多数が指定されている。</p> <p>また、この地域においては、高知県の林業活性化の中心施設として県などが事業化を誘致した四国最大級となる大規模な製材工場が設立されたことから、今後、国有林においても木材の安定的な供給を通じ地域産業の振興に寄与することが求められている。</p> <p>このような本計画区<sup>（原）</sup>の状況を踏まえるとともに、森林に対する国民の要請が、国土の保全や水源の涵養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の面で期待が高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ多様化している。特に地球温暖化の防止、生物多様性の保全については国有林への期待が大きいことを踏まえ、本事業においては、植栽等の更新作業及び間伐等の保育作業を効率的に実施するとともに、このための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的としたものである。</p> <p>主な事業内容    更新面積 113ha    ・ 保育面積 1,689ha                                 開設延長 4.0km    ・ 改良延長 33.8km        総事業費            1,575,131千円</p>		
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成26年度時点における費用対効果分析結果は以下のとおりである。</p> <p>森林整備（更新・保育）及び路網整備に関して、予算の効率的な執行に努め適切な森林整備事業を行った。</p> <p>総 便 益（B） 15,342,237千円   （事業採択時 2,748,309 千円）        総 費 用（C） 2,797,958千円   （事業採択時 977,892 千円）        分析結果（B / C） 5.48           （事業採択時 2.81）</p>		
事業効果の発現状況	<p>本事業の実施を通じ、保育(1,689ha)などの森林整備により、水源<sup>かん</sup>涵養や山地保全などの公益的機能の維持増進が図られた。</p>		

	<p>また、林道の開設・改良を実施したことにより、森林整備施業地までの到達時間の短縮や作業コストの縮減など森林整備経費の縮減が図られた。</p>
<p>事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>本事業で整備された森林は、一部にニホンジカによる食害が発生したが、幼齢林については防護柵等を設置するなど、継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。</p> <p>また、本事業で整備された林道は、草刈りや路面の整備等を適切に実施しており、維持管理状況は良好である。</p>
<p>事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により、重視すべき機能（水土保全等）の区分に応じた良好な森林が形成されつつある。</p> <p>また、路網整備により森林整備施業地までの到達時間の短縮、作業コストの縮減等が図られるようになった。</p>
<p>社会経済情勢の変化</p>	<p>高知県の林業就労者は少なく、依然として減少しており厳しい状況にあるものの、高知県では法定外目的税として森林環境税を平成15年から導入し保全政策を行っているほか、新規林業従事者を確保するための対策に取り組むなど、林業の復興を積極的に進めている。</p> <p>こうした状況の中、国有林に対して、地球温暖化防止や林地災害防止、水源涵養<sup>かん</sup>など森林の公益的機能発揮のほか、この地域には四国最大級となる大規模な製材工場が設立されたことから今後、国有林においても木材の安定的な供給を通じ地域産業の振興に寄与することが求められている。</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>公益的機能を長期にわたって発揮させるため、周辺の環境に配慮しつつ、事業計画に基づき着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>また、今後の事業においてもコスト縮減の努力を行うことが必要である。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地方自治体からの意見は以下のとおりとなっている。</p> <p><b>（高知県）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育間伐や林道・作業道の延長などの事業により、木材の安定供給に寄与することに加え、水源涵養<sup>かん</sup>など公益的機能の発揮が期待できる。</li> </ul> <p><b>（本山町）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林施業の集約化や、路網整備による低コスト化を図り森林の持っている多面的機能発揮の効果と、森林資源を効率的に利用することで木材自給率の向上へと弾むことが重要な課題である。公益的機能を長期にわたって発揮させるため、事業計画に基づき、周辺の環境に配慮しながら実現可能な施業の実施をすることが大事である。</li> </ul> <p><b>（いの町）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるために、計画的な事業実施が必要である。年度により増減はあるが、森林整備及び林内路網の整備が着実に実施されていると認識している。今後とも、主伐、再造林、保育といった循環を加速化させ、森林の有する多面的機能の発揮はもとより、雇用の場の確保に向けた取り組みの推進を期待している。</li> </ul> <p><b>（仁淀川町）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるために計画的な事業実施が必要である。近年の公共事業の削減や、急峻な地形を要因とする開設単価の抑制難等、厳しい現状が続くと考えられますが、より一層の事業の実施をお願いし、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、適正な森林施業の実施や、森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を積極的に推進して頂きたい。</li> </ul>

	<p>(土佐町)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の低コストで安定的な供給を確保するため、利用間伐と路網整備の取り組みを強化し、森林の持つ多面的機能と木材自給率の向上が課題である。森林整備により水源涵養、土砂災害防止など森林の持つ公益的機能が発揮されている。今後も公益的機能の更なる向上を目指し森林整備・保全を進めていくことが重要であると考えている。</li> </ul>
<p>森林管理局事業評価技術検討会の意見</p>	<p>森林整備を行うことで、木材生産を通じて地域振興への寄与や森林の公益的機能が発揮されており、今後も評価の結果を踏まえた事業の実施が望まれる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 水源涵養、国土の保全及び地球温暖化防止等の公益的機能の発揮に寄与するとともに、地元の大型製材工場の操業に向けた木材の安定供給に関する地域の要請に応えるための事業であったことから、事業の必要性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から事業の効率性は認められる。</li> <li>・有効性： 地域の特性を踏まえた路網整備と森林整備の実施により、水源涵養や山地保全などの公益的機能の維持増進が図られ、また林道の開設・改良を実施したことにより、森林整備実施箇所へのアクセスの向上、コスト縮減が図られ、引き続きその効果が発現されるものと見込まれることから、事業の有効性は認められる。</li> </ul>

様式1

### 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名 森林環境保全整備事業

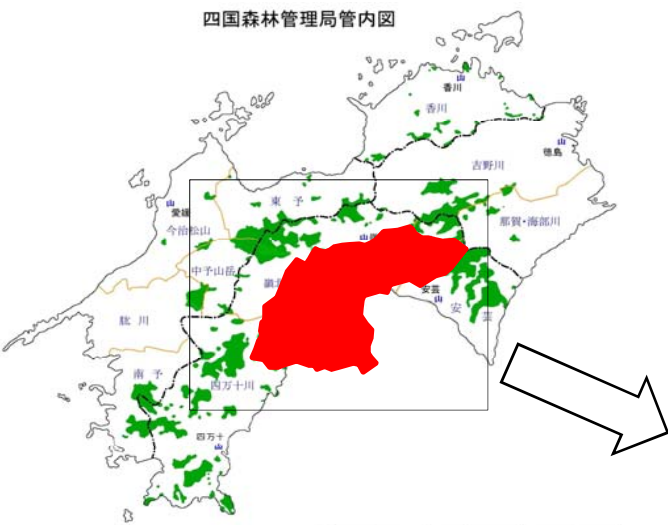
都道府県名: 高知

施行箇所 嶺北仁淀森林計画区

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,238,742	
	流域貯水便益	1,646,141	
	水質浄化便益	3,631,917	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,713,086	
環境保全便益	炭素固定便益	741,010	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	494,975	
	木材利用増進便益	5,166	
	木材生産確保・増進便益	257,319	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	19,051	
	森林整備促進便益	1,594,830	
総 便 益 (B)		15,342,237	
総 費 用 (C)		2,797,958	
費用便益比	$B \div C = \frac{15,342,237}{2,797,958} = 5.48$		

平成26年度 森林環境保全整備事業 嶺北仁淀計画区(高知県) 事業概要図



対策計画区拡大図



嶺北仁淀計画区